

## 意見公述<2> 大阪府民などからの公述

### ◆公述人④ 学校関係者(秋桜高校教職員)

2023.10.8 カジノ公聴会発言

秋桜高等学校教職員一同

こんにちは!私たちは貝塚市にある通信制単位制の高校・秋桜高校の教職員です。生徒は大阪府と和歌山県に住んでいる子どもたち492人、教員16人と事務職員5人の小さな学校です。希望するすべての子どもが入学することができます。小学校・中学校に馴染めなかったり、さまざまな辛い思いをして学校にほとんど通うことができなかった子、勉強から取り残されたり元気が良すぎて教室で授業を受けられなかった子がたくさんいます。また校則違反や妊娠などで最初に行った高校をやめざるを得なくなり、他校から転校してくる子どもたちもたくさんいます。そんな子どもたちが自分らしくすごせて、明日も行きたいと思える学校であってほしいと私たちは願っています。そのためにはまず学校が安心の居場所ではなくてはどの思いから、子どもたちみんなの名前を覚え、その子が呼ばれたい名前と呼び、全員の先生で全員の子どもを担当をしているという気持ちで、一人ひとりの子どもと深く関わろうとしています。秋桜高校の職員室は出入り自由で、いつも子どもたちで溢れています。そんな本校で過ごした生徒が卒業文集に書いた作文を一部抜粋して紹介します。

秋桜高校

まずすべての人に自分を大切にしてほしいです。学校は学力とか将来のこととかで選んだりすることが一般的には多いと思う。でも多分自分がどんなに秀才だとしても秋桜を選ぶと思う。こんなに個人を尊重して大切にしてくれる学校は全国を探しても少ないと思う。

ひとり一人に寄り添って辛い時は痛みを共有してくれたり、楽しい時は一緒に笑ってくれる、これがほんとの人の愛とか優しさだと思う。何の偏見の目もなく個人を認めてくれその子に合った進め方をしてくれるあたりも最強だと思う。学校で教える先生たちの中にこの人間味あふれる先生たちのような人が他の学校でももっと増えてほしい。学校本来のあり方は分からないけど秋桜のような学校がもっと増えればなと思う。

より自分らしく生きることが出来てきたと思う。

今思うと感謝です。3年間ありがとうございました。

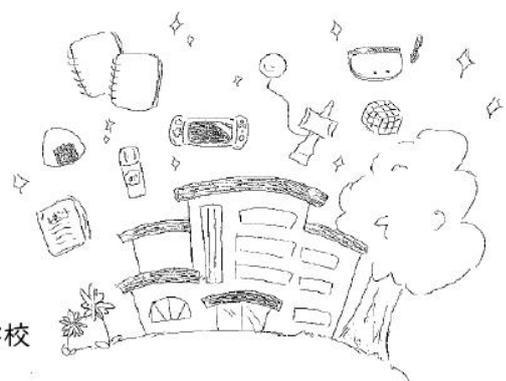


作文の中でこの子が願っているように、すべての人に自分を大切にしてほしい、本当にそう思います。そしてすべての人が尊重され、安心して生きていけるようになってほしい、そのことを願う本校では、子どもたちと一緒に色々な署名の取り組みをしています。知っている方もおられると思いますが、カジノ見える化大作戦のカードは秋桜で209人が投票しました。



大阪府民の中で、カジノが出来るのを望んでいる人はどれくらいいるのでしょうか。私たちは本当に出来てほしくありません。今でさえ、私たちの家族や本校の卒業生が頑張っている稼いだお金をギャンブルに使っています。カジノが出来てしまったら、きっと行ってしまふ子が何人もいるでしょう。行きたくなるように作るのですから。大阪府が試算しているように一人当たり60万円。家族が60万円カジノに使ってしまったらどうなるか、想像できないのでしょうか。大阪府に笑顔が増えるのでしょうか。人の不幸の上に成り立つもうけを、私たちは経済成長などと呼びたくありません。カジノができたなら、ギャンブル依存症対策を学校で学ばせろと言うのでしょうか、そんなのまっぴらご免です。カジノを作らないことが一番の依存症対策ですし、カジノにつき込むお金があるなら教育や医療、福祉など本当に必要なことに使ってほしいです。

大阪府はこの8月に私立高校の授業料完全無償化の制度案を発表しましたが、実はその費用を大阪府が全額支払う制度にはなっていません。入学金など各家庭の負担は残る上に、無償にするための費用を学校に肩代わりさせる制度になっているのです。完全無償化というのなら、教育にかかるすべての費用を大阪府が負担してこそその無償化ではないでしょうか。巨額の税金をカジノに投入するのではなく、未来を作る子どもたちのためにこそ使ってほしい。それが大阪の経済を本当の意味で成長させることになると思いますし、みんなが笑顔で幸せに生きる一番の近道だと私たちは思います。ともに頑張りましょう!



〒597-0002

大阪府貝塚市新町2-10 秋桜高等学校

## ◆公述人⑤ 宗教者(浄土真宗本願寺派僧侶)

秋桜高校さんと同じ貝塚市にある、浄土真宗本願寺派のお寺から来ました。僧侶をしております。宜しくお願ひ致します。私からは、宗教的な、なかでも仏教的な視点から、お話をさせていただきます。

まず、「仏教はギャンブルをどう見るか」という点からお話させていただきます。

ギャンブルについて、お釈迦様は、原始經典のひとつ「シンガーラ經」のなかで、具体的な危難を示してハッキリと戒められています。人間の欲望というものには限りがなく、ギャンブルはその欲望を増幅させます。執着と苦しみの原因となりますので、「避けなさい」というのが仏教の基本的な姿勢といえます。

次に、仏教的視点から、我々の生活とカジノとがどう結びつくかという点についてお話ししたいと思います。「私はギャンブルしないから関係ない」という声はよく耳にします。しかし、全ては、自分の思いもよらないところに関係しあっていると考えるのが仏教です。すべては関係しあって成立している。これは、「縁起説」という仏教の根本的教理です。したがって、自分はカジノに行かなくても、カジノという、誰かの負けを前提とした事業、人の不幸によって成り立つ事業を政策とする自治体に暮らすとはどういうことなのか、街・ひと・暮らし・文化など、全体の関係性への影響について考えることとなります。

大阪という町の歴史をみてみましょう。大阪の文化と宗教、とりわけ寺社との関係はとても密接です。お寺との関係で示せば、古くは四天王寺建立と同時に設置された四箇院(しかいん)から脈々と受け継がれる医療・福祉の精神に始まり、北御堂・南御堂という寺院に沿ってつくられた御堂筋にある現在の賑わい、勤勉・節約といった大阪商人の商業倫理など、数え上げればきりがなく、大阪のシンボリックなものが、宗教的な文化的土壌の上に花開いてきました。

京都にある龍谷大学では、近年、「仏教 SDGs」といって、近江商人の商業倫理をあらわす「三方よし」の礎となった仏教の教え、「自分の利益と同時に他人の利益を大切にすること」という「自利利他」の教えを、持続可能な社会の実現に活かそうという取り組みをしています。

さて、一方で、街路樹をむやみに伐採したり、文化的なモノや場所や建物を粗末に扱ったり、夢洲に関して言えば、汚染物質を埋め立てて無理やり重工建造物を建てようとしたりするような、自然や歴史への畏敬の念を欠いた振る舞い、更に、そこで、誰かの不幸によって成り立つ事業を行うこと、これらは、先ほど申し上げたような、これまでの長い歴史のなかで大阪に花開いてきた文化的豊かさを、踏みにじる所業です。自然や歴史や文化に、過去の人びとの営みに、学び、敬意を払うことのできない社会が、未来を大切に出来るのでしょうか。持続可能な社会を本当に実現できるのでしょうか。残念ながら今日ここにおいでいただけなかった国や大阪府市のみなさんは、本当はどんな気持ちでお仕事をされているのでしょうか？大阪の明るい未来を信じてお仕事をされているのでしょうか？

東京大学の安富歩さんが、原一男監督の『れいわ一揆』というドキュメンタリー映画のなかでこう言っておられます。日本国の本当の名前は「日本立場主義人民共和国」なのだ。人は、立場の入れ物になってしまっている。人と人が話しているように見えて、実際に喋っているのは、立場と立場なのだ。

ここで、話を仏教の根本的教理である「縁起説」に戻します。夢洲 IR カジノ計画は、救いようのない泥船に見えます。その泥船は、守る価値のたいへん疑わしい「立場」によって、何とか存在しています。しかし、忘れてはならないのは、この立場主義社会は、決して固定されたものではないということです。互いに影響をうけ、変化できるものだということです。立場を変えることだって出来ます。硬直化した「立場」を一旦脇に置けば、私たちが望んでいることは、敵対ではないはず。望んでいるのは、現実を直視し、耳を澄ませ、共に、より良い大阪の未来を選択することです。

行政側の皆さまには、いま一度、それをご自身に問いかけていただければと思います。持続可能な大阪の未来について、一緒に考えていきましょう。

宗教者として、私からは以上です。

ご清聴ありがとうございました。

## 参考資料 仏教とギャンブル

### 『シンガーラ経』六方礼讚より

「賭博という勝手気ままでしまりのないことの原因におぼれると、六つの災難がある。」

- 一、勝てば相手に恨まれる
- 二、敗けて悲しむ
- 三、現実に財産をすり減らす
- 四、法廷に立っても彼の言葉は信用されない
- 五、友に軽蔑される
- 六、結婚したい人からは拒絶される



「長者の子よ、つぎの四つは友ではなく、敵であって友に似た者と知るべきである。

- 一、何ものでも取ってゆく者・自分の利益のみを追求する者
- 二、言葉だけの者・行動が伴わず口先だけの者
- 三、甘言を語る者・うわべだけで中身が伴わない者
- 四、放蕩（酒や賭博に溺れるもの）の仲間は友ではない

「これらの四つは友であると賢者はこのように知り 敬意をもって親しむがよい」

- 一、助けてくれる者・正しい方向に導いてくれる者
- 二、苦楽を共にする者・窮地にあっても見捨てない者
- 三、忠訓なることを話す者・嘘ではなく真実を伝えてくれる者
- 四、情けのある者・共に喜び心配してくれる者



### 『スッタニパータ・蛇の章』「犀の角」より

もしも汝が、〈賢明で協同し行儀正しい明敏な同伴者〉を得たならば、あらゆる危難にうち勝ち、こころ喜び、気をおちつかせて、かれとともに歩め。

しかしもしも汝が、〈賢明で協同し行儀正しい明敏な同伴者〉を得ないならば、譬えば王が征服した国を捨て去るようにして、犀の角のようにただ独り歩め。

#### 自利利他

自利は自らの修行によって自身が利益（りやく）を得ること。利他とは自利によって得た利益を他に施すこと。本来は仏道修行に用いられる言葉であり、仏・菩薩の行とされる。

この二利は二つで一つであり、どちらかだけに偏ってはならない。

#### 縁起

因縁生起の略。全てのものは原因（因）より生まれ、結果（果）を生ずる。そこにはさまざまな条件（縁）がはたらいっているという仏教の基本的な考え方。

種子を因とするならば、果は花であり、太陽の光や水、栄養などが縁である。日が陰り、水が澱めば花は枯れてしまうであろう。

#### 三方よし

「売り手よし・買い手よし・世間よし」とする近江商人の経営哲学。伊藤忠兵衛が近江商人の先達に対する尊厳の念を込めて「商売は菩薩の行、商売道の尊さは、売り買い何れをも益し、世の不足をうずめ、御仏の心にかなうもの」という言葉がルーツとされる。

## ◆公述人⑥ 大阪府内在住青年

みなさん、こんにちは。大阪市淀川区在住の、佐々木と言います。宜しくお願いします。僕は、障がい児施設で10年以上働いています。僕は、夢洲に IR・カジノをつくることは絶対反対だと思っています。

まず、市民の税金で作るのはまちがっていると思います。そのお金を、カジノをつくるために使うのであれば、もっとバリアフリーにお金を使ってほしいです。

僕も、障がいを持つ一人です。小さい時から、施設に入所していました。小学1年生～小学4年生までは、普通の学校に通っていました。その中で、いじめにあいました。

障がい者が、生活しやすい大阪にしてほしいです。例えば、視覚障がい者がよく使う、点字ブロックです。僕の、職場周辺は、点字ブロックは少ないです。もし、点字ブロックがあったら歩きやすくなると思います。実際、視覚障がいの方が入所されています。先日、大阪府庁舎に行った時にも気づきました。大阪府庁舎の前の歩道はガタガタです。点字ブロックは、めくれ上がり、歩道には段差もあります。障がい者が、安心して生活ができるようにお願いします。

それから、カジノに、はまると...病気に、なると思います。それは、ギャンブル依存症です。ある本に、書いてました。「依存症は、誰でもなりうる病(やまい)。だからこそ、その環境を作らないことが重要だ」と。まさしく、その通りだとも思います。みなさん、不安を持っています。ギャンブル依存症は、かならず出てきます。依存症の対策をするのではなく、カジノをやめることが一番です。

最後に、僕は働き始めて、社会の出来事に関心を持つようになりました。何度も、沖縄に行きました。来月、行く予定にしています。そこでは、名護市の辺野古に新しく基地が作られようとしています。でも、沖縄の人たちはこれに反対しています。おじいちゃん・おばあちゃんが、必死で頑張っています。

同じことが、大阪でも起きています。夢洲にカジノを作ることに反対する人は、たくさんいます。どうして、国も、吉村知事も、横山市長も、僕たち市民と向き合って、話をしないのでしょうか。何度も、今日の公聴会に出席をお願いしたのに、欠席をするのでしょうか。話しあいもしないで、一方的な「説明会」だけ開いても意味はありません。

僕は、納得いきません。双方向(そうほうこう)の、対話をしたいと言っていたのに…。

みなさんに、おうかがいします。双方向(そうほうこう)の、対話ってなんですか？僕なりに、意味を考えてみました。双方向(そうほうこう)の対話とは、賛成する側の意見・反対する側の意見を聞くことかなあとと思います。まちがっていたら、ごめんなさい。

僕たち若者に、カジノを大阪に押し付けなないでください。若者や、障がい者が、安心して暮らせる大阪にしていかなければいけません。もっと、この現状をいろんな人たちに伝えていかないと。そうしなければ、社会は変わらないと思います。

お願いします。市民・府民の意見を聞いてください。そして、説明会の回数を増やしてください。このままでは、市民・府民のみなさんは納得できません。僕は、夢洲のカジノ計画の中止を強く求めます。

ご清聴(せいちょう)、ありがとうございました。

## ◆公述人⑧ 大阪府内在住外国人

私は、旧植民時代に朝鮮半島から日本に来たハルモニ(おばあさん)の孫で、最終学歴までずっと日本の学校しか行ってない在日3世です。でも選挙権が無いので1960年生まれですが自称17歳です。

昨年のカジノの是非を問う住民投票条例の制定を求める直接請求署名活動を知ったのは、朝鮮半島や中国、各国の書物を保管されている民間図書館でのイベントでした。

住民側が作った条例案には『在日外国人にも投票権を…』となっていたのですが、署名を集める活動にはいろいろと制約があり、事務所でお手伝いをしていました。

他の在日の居酒屋店主さんは積極的に紹介されていたそうです。

しかし約21万筆集まった住民投票条例制定を求める直接請求署名を府議会において数時間で否決されたからは、事務所でチラシをおりながら、千羽鶴に願いを託すみたいに「夢洲カジノ止められます様に」と祈りを込め、ムカムカする気持ちを静めていました。

在日同士よく話すのが、「維新は、真っ先に民族学校への支援を停止しておいて、何が全ての学校の無償

化や！」そして「よそでして無い事は辞めるって、行政を後退させといて自慢するな！」「誰の身を切ってんねん。漏れなく在日からも税金取っておきながら、福祉と文化財政の大削減で何重にも被害を被っている在日は沢山おるんやで！」と言う憤りです。

最後になりますが、この府民公聴会のお誘いで、M新聞にも紹介された事のある行列の出来るオシャレな焼肉店を運営されている女将さんに初めて声を掛けましたが、「おっそいわあ〜もっと早おいで〜」と言いながら賛同していただきました。

韓国では炭鉱跡地にカジノを誘致して失敗し、大きな社会問題になっているそうです。私たち夢洲カジノを止める運動を待ってる人たちがまだまだいらっしゃいます。これからも宜しくお願いします。

《追伸:11月〆切 制度的無年金者問題署名実施中》

## ◆公述人⑨ 大阪市此花区民公述人

こんにちは 夢洲のある此花区民の金光順子と申します。

カジノの是非を問う住民投票署名集めや、街頭宣伝で3000人以上の方とお会いし、お話を聞きました。年配の方からは「ホンマに生活が苦しい。病院代も大変」子育て中のお母さんからは「カジノ作るお金があるんやったら、出産費用や教育費を無料にしてほしい」子供たちからは「カジノより思い切り野球やサッカーできるところをつくってほしい」との声を聞きました。私たちの税金が使われることをどう思いますか、というと、「金の問題やない！博打場作ること、その考え自体が間違ってるんや！」と叱られたこともありました。

「博打はあかんと思うけど、わしとこの会社がやってるから、署名はでけへん」という人や、「維新支持やけどカジノだけはあかん！」と署名してくれた方。また、何人もの方から、「親のギャンブルでものすごく苦労した」「博打で人生メチャクチャになった」の、声。 今日この場に來られない、国の担当者や、吉村知事、横山市長は、このような府民市民の声を全く聞こうとしません。 来ていたら、ぜひ聴きたかったこと、伝えたいことがあります。

毒物・液状化・津波、危険がいっぱいの夢洲を上から眺めて、業者とカジノ契約を交わした時、そこで働く建設作業員の方や、国を挙げて呼び込む海外の旅行者や、万博に税金で招待する子供たちに何かあったら、どうしようとか考えなかったのでしょうか？ もしもの時、賠償責任とかはだれがとるのでしょうか？

平成25年の避難所マップによると、此花区の津波避難所ビルの50%が海拔マイナスです。身近な避難所である公立小中学校は+0.4M が一つだけで後は全部-0.3Mから-1.9Mです。「海拔ゼロメートル地帯の此花区。津波は113分でやってきます。鉄筋コンクリートの3階以上へ逃げて!! と書いてありますが、ほとんどの校舎は3階建てです。さらに、ほとんどが法定耐用年数60年を超えています。一定の耐震工事はされましたが、天井や壁の落下、ひび割れは多くの学校で起こっています。カジノより、誰もが安心して学べる、避難所にもなる**世界最高水準**の学校を作るほうが、市民、府民の為になり、ゼネコンにとっても未来の子供たちにも誇れる仕事ではないでしょうか？

夢洲の地盤沈下、津波被害の問題を問われた時に、吉村知事は、「夢洲はかさ上げしているので大丈夫。周りの方が水浸し」と言ったとか。そこに住んでいる此花区民のことは考えなかったのでしょうか？できるかどうかもわからないカジノに税金をつぎ込むのではなく、まじめに働き、税金を払っている此花区民の為に、待ったなしの災害対策を一刻も早くしてください。

現役の知事のとて、「こんな猥雑な街、いやらしい街はない。ここにカジノをもってきて、どんどん博打打ちを集めたらいい。風俗街やホテル街、全部引き受ける」と言った橋下徹氏。此花区の歴史や文化、若いアーティストが集い、子供たちがコンクリートに壁画を描き、アートあふれる街づくりをしていることを知っていますか？「夢洲は鳥さんたちの為に作ったんやない」などと言っていた松井元市長。昨年まで、我が家のベランダには、都会には珍しい野鳥が飛来していたのですよ。今年もう来ていません。横山市長、あなたができる最善のことは、市民の声、専門家の意見に耳を傾け、自分の目で見て、自分の頭で考え、過ちを認め、時代遅れの先輩たちと決別し、勇気ある撤退をすることだと思います。

最後に、新聞・テレビの記者の皆さん、もしこのまま夢洲カジノが作られたとしたら、いずれ、今の、ジャニーズ問題の比ではない報道各社の責任が問われることになるのではないのでしょうか？「ラスベガスも行ったことあるけど、あんなが大阪にあったらええと思うで」「経済の為には必要」と言っていた人も、色々な問題点を伝えると、「そうやったんか、そんなら反対や」と多くの方がカジノ賛成から反対に変わりました。これからも、プロの取材力と発信力で、正しい情報をより多くの人々に伝えてください。どうかよろしくお祈りします。